

# 永谷レモン石鹸を知ろう

〜そもそも石鹸とは〜

永谷レモン石鹸は何度も実験で失敗し、試行錯誤して、色と香りを追求した、横浜がんばレモンを使用したレモン石鹸です。石鹸の歴史やレモンと石鹸の関係性を知って、永谷レモン石鹸のことを知りましょう。

石鹸の始まりは、今から約5000年の古代ローマから生まれまし  
た。当時は羊を神に捧げる風習があったそうで、焼いた羊の脂と灰  
が混ざり、石鹸のようなものが誕生したそうです。

日本に石鹸が伝わったとされるのは安土桃山時代で、ポルトガル  
やスペインなどから持ち込まれたと考えられます。当時の石鹸は、  
医薬品として紹介、製造がされていたそうです。

一般の暮らしに使われる様になったのは、明治10年頃でした。普  
及には大量生産が必要です。そんな中で活躍した人物が堤磯右衛門  
です。彼の活躍で、今の私たちが当たり前前に石鹸を使えるのです。

〜横浜市と石鹸、そしてレモン〜

なぜ私達がレモンと石鹸を掛け合わせたかというのと、どちらも横浜に関  
係深い二つだったからです。レモンは、初めてレモンが栽培された地が横  
浜。そして石鹸は、国産石鹸第一号が発売されたのが横浜だったのです。  
そもそも私達が育てている横浜がんばレモンは地域活性化を目指して横浜  
観光資源開発が企画したプロジェクト。そのため「横浜の物」×「横浜の  
物」でより横浜が活性化すると思ったのです。